

刈払機の安全な使い方

2 作業前の点検

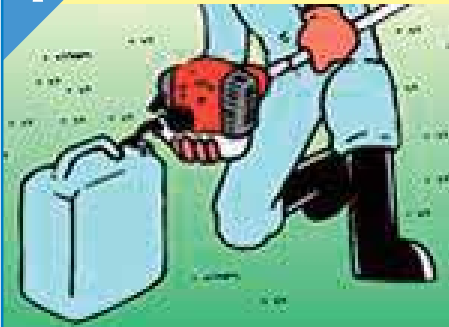


■作業前に各部の点検をしてください。
各部品がきちんと取り付けられているか確認してください。特に刈刃は正しく取り付けてください。飛散保護カバーは必ず装着して作業しましょう。保護カバーは作業の方へ異物が飛ぶのを防ぎます。外して使用すると事故を招く恐れがあります。



■刈払作業を快適に行うために。
背負バンドやハンドルを作業し易い位置に調節してください。自然に持った時、刈刃が地上から数センチの高さになるよう、バンドの長さやハンドルの位置を調節してください。また、連続的な作業ですから、体と刈払機が一体となって重心移動を行い、リズムのある動作で作業すれば体がラクです。

4 こんなときは・・・



機械の調子が悪い時は、すぐ作業をやめてください。機械が突然ぶれたり振動したらすぐエンジンを停止して、原因が分かり、修理が終わるまで機械を使用しないでください。長期格納時は燃料を抜いてください。長期間使用しないで格納する時は、燃料タンク・気化器内部の燃料を抜いてください。燃料が残っていると変質してエンジンの不具合を起こしたり、火災の原因となります。

1 作業を始める前に



■必ず取扱説明書を読みましょう。
ご使用前に、製品の取扱説明書をよく読んで運転操作をしてください。

■こんな時は運転操作しないでください。
病気・過労・体調の悪い時や妊娠中の場合、また、お酒や身体に影響を及ぼす薬を飲んだ時には作業を行わないでください。

■作業に適した作業服・保護服を使いましょう。
すそじまり・袖じまりの良い草刈作業に適した作業服と保護めがね、保護手袋、作業靴、すね当てなどの保護具を着用してください。

3 作業を始める



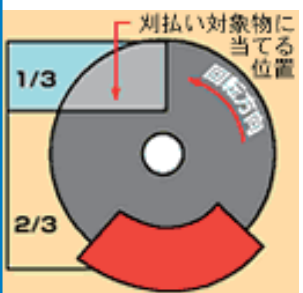
■エンジン始動時は周囲を確認してください。
エンジンを始動するときは周りに人がいないことを確認してからスタートしてください。また、エンジン始動時は刈刃を地面から浮かせてください。刈刃が地面や障害物に触れていないことを確認してください。
※燃料補給をする場合はエンジンが冷めてから行ってください。



MEMO
＜ヒント＞
あらかじめ作業現場の障害物を取り除いておきましょう。刈刃が石や空き缶などの障害物に接触すると、思い掛けない方向に飛び跳ねることがあります。



■作業中は15メートル以内に人を近づけないでください。
特に子供には注意してください。思わぬ事故の原因になります。他の作業者に近づく時は合図をして、作業者がエンジンを止め、刈刃が止まってからにしてください。



■傾斜地での作業は足場を確認して。
傾斜地では足が滑りやすく、地面の状態も場所によって違います。一歩ずつ足場を確かめながら作業をしましょう。

MEMO
＜ヒント＞
雑草等を刈るときは刈払った草類がからみつかない刈刃の位置で刈りましょう。

エンジン刈払機 良くある質問集

刈払機は「ムズカシイ機械」と思っていないですか？そこでコメリ・ドットコムでは、良くある質問をまとめてみました。購入の際の参考にどうぞ。

Q うちにあるのは、結構古い機械。毎年シーズン初めはエンジンのかかりが悪くて・・・。

A まず、燃料が新しいものかどうか確認して下さい。古い燃料は思い切って捨ててしまいましょう。次に、プラグを確認して下さい。

Q お店に行くと、いろいろなメーカーから様々な刃が売られていますが、取り付け穴の径はどれでも一緒？

A 統一基準がありますので、国内製のものはほぼ大丈夫です。コメリのお店でご確認下さい。

Q 最近流行の「ナイロンカッター」を使ってみたいのですが、何か気を付けることはあるのかな？

A ナイロンカッターは、柔らかく丈の低い草に有効です。金属刃での作業が困難な場所や、ブロック塀の近くでも活躍してくれます。ポイントとして、

- ・ナイロンコードで草をなぎ倒す感覚で刈っていくので、ある程度のパワーのある機械が有効。
- ・コードの断面が「丸型」より、「星型」「角型」のほうが切れ味は良い。但し、耐久性では劣る。などが挙げられます。

エンジン刈払機故障診断・対策方法

症状	診断	原因	対策
エンジン が始動し ない	停止スイッチが始動方向になっているか確認	停止スイッチが停止（OFF）の状態になっている	停止スイッチを始動方向にする
	チョークレバーが閉じたままではないか	エンジン始動方法誤操作	取り扱い説明書を確認し正しく操作
	燃料が異常なおいがする	長期間、経過のため燃料の劣化	新鮮な混合ガソリンを入れ替える
	燃料に水分が混入している	燃料ふたゆるみなどにより水分混入	新鮮な混合ガソリンを入れ替える
	リコイルスターターが引けない	燃料混合比違い等によるエンジン焼付き	シリンダ、ピストンなどエンジン部品交換
	リコイルスターターを引いてもスパークプラグが濡れない	長期間、燃料をタンク及びキャブ内に入れたままによるキャブ内のつまり及びダイヤフラム硬化	キャブ内清掃、ダイヤフラム等キャブ内部部品交換
	プラグから火花が出ない	スパークプラグ不良及びイグニッションコイル不良	スパークプラグ及びイグニッションコイル交換
エンジン 始動する が不安定	エアークリーナーが汚れていないか	エアークリーナーが汚れていて不安定	エアークリーナー洗浄
	燃料が異常なおいがする	長期間、経過のため燃料の劣化	新鮮な混合ガソリンを入れ替える
	燃料に水分が混入している	燃料ふたゆるみなどにより水分混入	新鮮な混合ガソリンを入れ替える
	混合燃料の混合比を正確に行ったか	混合燃料の混合比違いによる運転不良	正確な混合比で混合した混合ガソリンを入れ替える
	燃料タンク内に燃料を入れたままの状態でないか	長期間、燃料をタンク及びキャブ内に入れたままによるキャブ内のつまり及びダイヤフラム硬化	キャブ内清掃、ダイヤフラム等キャブ内部部品交換
異常振動 がする	刈刃を正しく取り付けられているか	刈刃を正しく取り付けしていないため異常振動	刈刃を取り扱い説明書に従い正しく取り付ける
	刈刃が損傷していないか	刈刃が損傷し軸がずれての振動	新しい刈刃と交換

※上記診断内容は一部内容です。上記内容で交換、調整、洗浄等の対策を行ってトラブルが解消されない場合は、販売店、製造元にお問い合わせください。